

大阪産業創造館ネットモニター調査 -No.1 '12年8月期-

(ご協力いただいたモニター数:77社、調査時期:2012年9月4~11日)

公益財団法人 大阪市都市型産業振興センター 経済調査室
9/24 <http://www.sansokan.jp/tyousa/> tel:06-6264-9816

《8月の景況判断に関する要点》 (図1参照)

- ・前月と比べた8月の景況はDIで-1.3で、横ばい圏の動き
- ・前年の8月と比べるとDIは+5.2で、やや改善している
- ・年末需要期が迫る11月の業況は8月よりも上昇・好転を見込む割合が半数に達し、DIは+31.1へ急上昇

《今年度の設備投資に関する要点》 (図2、図3参照)

- ・今年度、設備投資を予定している企業の割合は4割強、他方、予定無しの割合が1/3。製造業の方が積極姿勢
- ・予定企業に関し、昨年度からの投資額の増減率をたずねた結果では、6割以上が積極化の姿勢、2倍以上も多い
- ・投資対象は機械装置が中心で、投資目的は新製品・製品高度化が第一で、能力増強や維持・更新と続く

《海外・外国人向けビジネスに関する要点》(図4参照)

- ・海外向け等の国際的なビジネス事業を何らかの方法で現在、実施している企業は4割強に達する。業種別では製造業の方がより活発に多角的な展開を行っている
- ・3つ以上の国際的事業を展開している企業はさすがに多くはないが、2つであればかなりの企業数に達する
- ・事業のタイプとしては輸出と輸入がほぼ同程度に行われ、次いで業務・技術提携が活発である。直接投資は少数派
- ・今後の姿勢は「現在の拠点等を強化・拡大」しつつ「新たなエリアや新事業での展開」を計画している企業が多い。また、「現在は関わり無い」企業も1/3は実施意向がある

(裏面へ続く)

図1 8月の景況判断

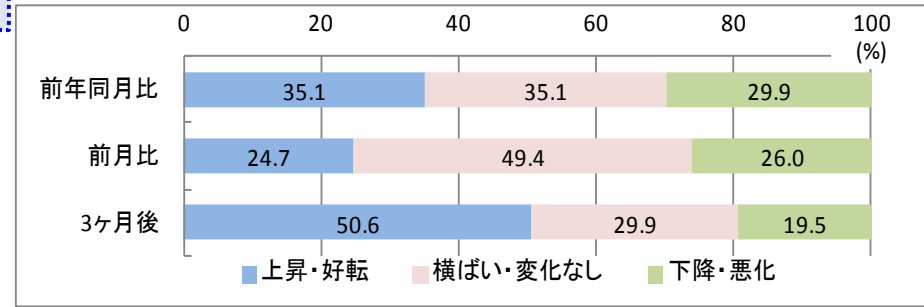


図2 今年度の設備投資の実施予定

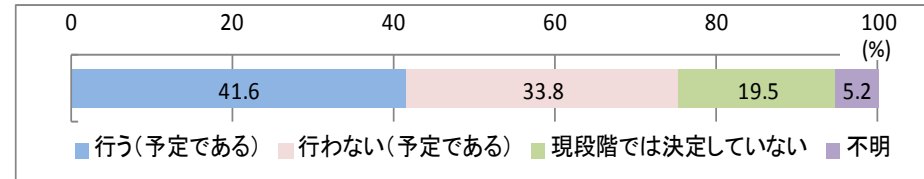


図3 今年度の設備投資額の増減率ランク別構成

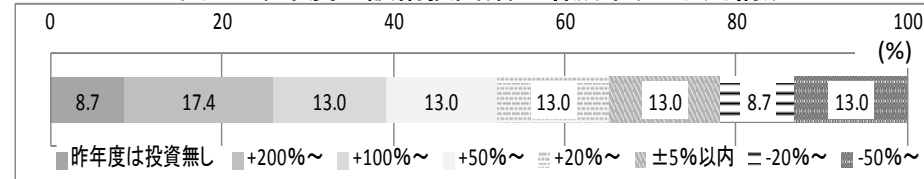


図4 海外・外国人向けビジネスの実施状況

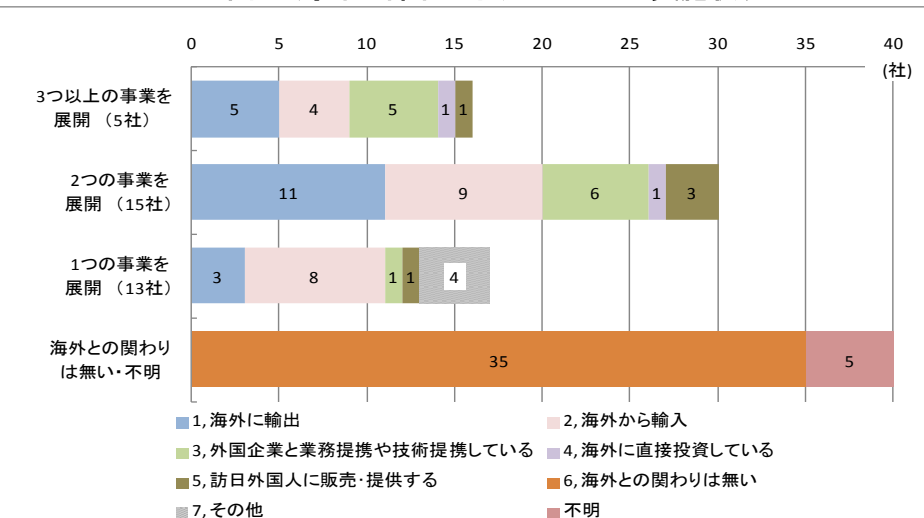
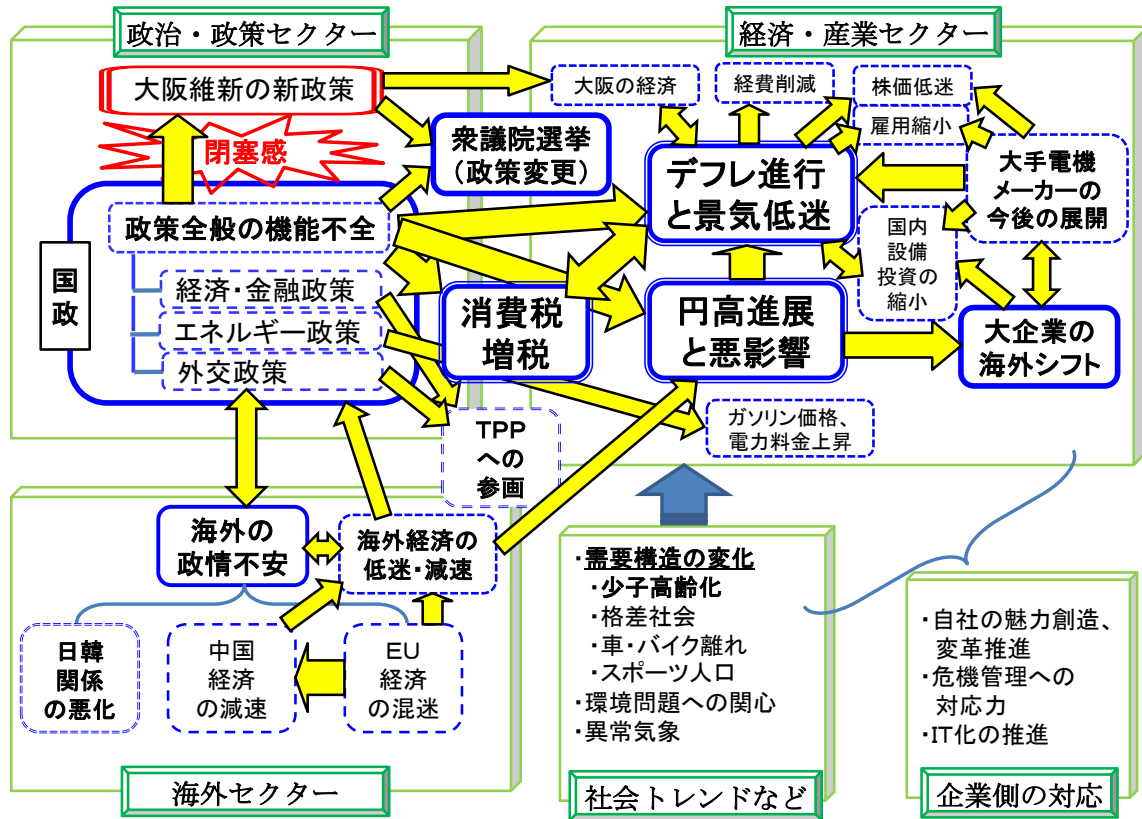


図5 「最近の社会経済情勢に関する最大の関心事項」からの意見集約結果（全体で85件）



《最近の社会経済情勢に関する最大の関心事項に関する要点》(図5参照)

【図の見方: 枠が太く、文字が大きいほど多くの経営者が関心を有している】

- ・関心事項をセクターにとりまとめた結果、「経済・産業セクター」に対する意見が最も多かったものの、その原因・背景として「政治・政策」に関する記述や「海外情勢」に関する懸案事項を併記する意見が少なからず見られた。
- ・関心の内容としては、デフレの進行による景気低迷を筆頭に、その背景としての円高の進展、再来年からの実施が決定した消費税増税による影響の懸念などで悲観的な材料が多い。また、衆議院選挙に代表される政治的な影響についても幅広い観点で関心を有しており、経済の舵取りへの期待をうかがわせる

《産創館に対する意見・要望に関する要点》(図6参照)

- ・産創館を利活用したことへの感謝の言葉が単独では最多。今後の希望としても多くの声が寄せられた。
- ・具体的には、新規テーマのセミナーやビジネスマッチング事業の工夫、大阪基点の新ビジネス創出のまとめ役/リード役、大阪市の企業でも参加できるサービス、新たな情報提供(新規ビジネス展開など)セミナー等で夜間など時間帯変更、新しい企画相談窓口の機能拡充、著名人の講演、得意先紹介、誘導目的ではない無料セミナーその他

(より詳しい結果をお知りになりたい方やご質問がおありの方は、経済調査室までご連絡ください。)

図6 産創館に対する意見・要望

